

第117回プラスワン例会報告(香川県技術士会との合同開催)

吉田智紀

YOSHIDA TOMOKI

技術士(機械)



1. 概要

先日、プラスワンは一般例会をいつものまなびCANにて実施した。今回は香川県技術士会との合同開催で、今後の活動を考えるワークショップをそれぞれ1件ずつ計2件実施した。講演は技術士の谷野宮様にお願いした。

参加人数は23名、懇親会25名と盛況であった。

表-1 プログラム

実施日：令和7年9月6日

場所：高松市生涯学習センター（まなびCAN）

1. 報告(13:20~13:40)

『出前授業・記念例会』吉田智紀

2. ワークショップ(13:40~15:10)

『OJT-Project Start-up』

ファシリテーター 加藤均氏 岩原廣彦氏

3. ワークショップ(15:20~16:20)

『プラスワンの今後10年でなすべきこと』

ファシリテーター 吉田智紀

4. 講演(16:30~17:30)

『地質技術者・釣り人・YouTuber・船長の四刀流-職業技術者が創る多角キャリアの可能性-』田村ボーリング株式会社 谷野宮竜浩氏

5. 懇親会(18:00~20:30)

高松市内

企画の現在の状況を報告した。合わせて準備委員の募集も行った。

3. ワークショップその1

一つ目は香川県技術士会加藤会長からの発案で、6月の総会時に提案された“新しい勉強会・研究会”のテーマをみんなで考えるものである。以前プラスワンでもメールで公募したがテーマが集まらなかったもので、今回実際に集まって考えてみよう



2. 報告

今年度の香川高等専門学校高松キャンパスでの出前授業も日程が確定した。実施要領は昨年同様で変更はない。今後参加者を募集していくので、積極的な参加を求めたい。各クラス10名以上の参加者が最低目標である。理科教室も昨年同様に実施することを報告した。

プラスワンは来年で30周年となるが、記念例会

写真-1 ワークショップ

いう企画である。参加者にあらかじめどのようなことをしたいかアンケートを取り、それを参考に4つのグループに分かれて討議を行った。

限られた時間であり、グループによってテーマの絞り込みに差が出たが、多くのタネは出てきた。工事現場・インフラ・工場などへの訪問、海ごみなどをテーマにした工作教室、香川の偉人「空海」を軸に香川を研究しようとするもの、ため池・ジオパーク研究、先輩から後輩等への継承など様々である。

しかし大事なのはここからで、これを勉強会・研

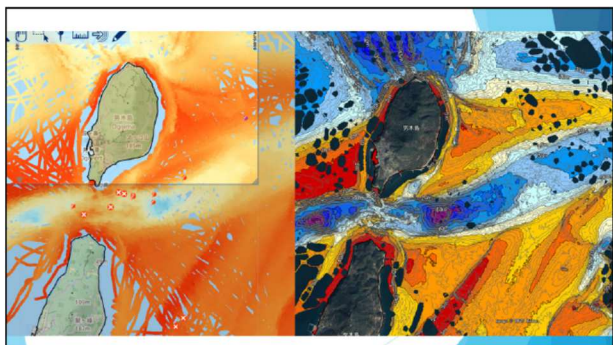


写真-3 海底地形図と YouTube

究会として立ち上げる次のステップに進む必要がある。そのためには一歩踏み出す勇気が必要となるため、今回参加者の“プラスワン”を期待したい。

4. ワークショップその2

二つ目はこれからのプラスワンの活動を考えるワークショップとした。来年30周年を迎えるにあたり振り返るとこの10年は出前授業に注力したといえる。では次の10年何をやればよいか参加者全員で考えてみた。

今回の結論は、「交流の場を作る」というプラスワンの使命は変えない。現在の例会・出前授業・理科教室・アウトドアイベントなど着実にやっていく、だったように思う。運営については複数人体制など意見があったので、今後募集していく。

30周年を前に多くの人にプラスワンの意義・思い・提言を聞く機会が作れてよかった。やってきたことが間違っていないことが確認できた。

5. 講演

今回は技術士仲間の田村ボーリング株式会社谷野宮氏に講演をお願いした。谷野宮氏は仕事の傍ら釣りを趣味とし、YouTuberでもあるという多くの才能を持った方である。

仕事のスキルを活かして海底地形図を作成し、それを活用した鯛釣りをを行い、それを動画撮影しYouTubeにアップすることで収入を得、またそのチャンネル登録者をもとにした遊漁船ビジネスを行うといった、自身の興味とスキルをフル活用して楽しんでいるようで、単純に凄いと思った。

海底地形図は自分で船を出し、ソナーで得られた情報と位置情報を紐付け、マップに落としたものである。そこから潮の流れを推定し、魚の習性を考慮して最適なポイントで釣るという技術者の思考で、従来の漁師とは違うアプローチで結果を出しているのがすごい。

またYouTubeはマーケティング思考が必要で、地道で継続的な投稿が欠かせず、成功するのは運でしかないということで、現実には厳しいことが分かった。

6. 懇親会

懇親会は高松市内の居酒屋でいつもの通り実施した。25名の参加で楽しく懇談できたと思う。

7. おわりに

プラスワンは10月に理科教室、11月は出前授業を予定している。今年も出前授業を意義あるものとするため、多くの参加者を募集するので、協力をお願いしたい。

また来年の30周年記念例会に向けて様々な準備・企画立案の業務がある。準備委員会に参加してみたい方がいれば吉田までメールをいただきたい。

以 上



写真-4 懇親会